

Topic

パークリィからのたより

前 田 隆

文部省在外研究員として、カリフォルニア大学パークリィ校 (University of California, at Berkeley、以下UCBと略す。)で研究を開始して、早くも4ヶ月が経過しました。温暖な気候で知られるここカリフォルニアも1月を迎え、肌寒い日々が続いています。

UCBは、サンフランシスコ市の対岸に位置するパークリィ市にある学生数約30,000、キャンパス面積290haの非常に大きな大学で、ここアメリカでは、CALの愛称でよばれています。キャンパスは、ビバリー・ヒルズならぬパークリィ・ヒルズとよばれるゆるやかな丘を利用してつくられており、緑の豊かな大学として知られています。

ここUCBは、非常に多くの学部、学科そして研究所から構成されており、その優れた研究施設とスタッフによって、全米でもトップクラスの大学として位置づけられています。また、UCBは、スタンフォード大学とともにアメリカ西海岸地区における学術研究の中心的役割を果たしているようです。このため、各国から数多くの研究者がここを訪れており、UCBは、大変国際色豊かな大学となっています。また、日本からの研究者も多く、少なくとも100人は、ここUCBで研究に取り組んでいるようです。

UCBは研究条件の大変よい大学で、キャンパス内だけでも、メイン・ライブラリ (Doe Library) をはじめ25の図書分館があり、これらが、UCBの研究者の活動を支えています。これらのライブラリには、一般の図書や雑誌に加え、日本では入手困難と思われるような資料等が数多く所蔵されてお

り、質・量ともに大変充実したライブラリシステムが形成されています。さらに、キャンパス外のライブラリやスタンフォード大学のライブラリも利用することができるため、実に莫大な量の資料をここUCBで利用することが可能です。

さて経済学部ですが、興味深いことに現在ビジネススクールの建物から数学科およびコンピュータサイエンス科の建物へ移転中です。経済学部のすべての組織が移転するかどうかはわかりませんが、教官の多くは移転を完了しています。また、経済学部の教官の一部は、数学科や工学部の教官を併任しており、ここUCBの経済学部は、特色のある経済学部となっているようです。ただ、図書や雑誌の多くは、ビジネススクールと同一のライブラリにあるため、効率を重んじる経済学であるにもかかわらず、若干の非効率が発生しているようです。

他方、経済学部における研究活動は非常に活発で、毎日2ないし3の研究会 (セミナー) が開催されています。さらに、他学部との共催の研究会やシンポジウムも頻繁に開催されており、ほとんど毎日興味ある研究発表を聞くことができます。現在、数理経済学と産業組織論のセミナーに参加していますが、いずれも最新のテーマについて、活発な議論が交わされ、非常にレベルの高いものとなっています。

以上は、私がこの4ヶ月間にここUCBで見たこと、聞いたこと、そして感じたことですが、私の誤解があるかもしれないことを付記します。

(金沢大学経済学部助教授)